

ビジョン・ステートメント

私たちのビジョンは、すべての子どもに豊かないのちを

私たちの祈りは、すべての人の心にこのビジョンを実現する意志を

Our Vision for every child, life in all its fullness

Our Prayer for every heart, the will to make it so

ミッション・ステートメント

ワールド・ビジョンはキリスト教精神に基づく国際的なパートナーであり、イエス・キリストにならい、貧しく抑圧された人々とともに働き、人々の変革と、正義を追求し、平和な社会の実現を目指します。

私たちは、このミッション実現のために、

総合的かつ全体的な方法で、以下の働きを行います。

- ・ 変革をもたらす開発
- ・ 緊急人道支援
- ・ 正義の追求
- ・ 教会とのパートナーシップ
- ・ 情報提供
- ・ スタッフの生活、行動等を通じたミッション・ステートメントの実践

基本理念

私たちはキリスト教精神に基づいて活動します

私たちは貧しい人々のために献身します

私たちはすべての人を価値あるものとします

私たちは仕えるものです

私たちはパートナーです

私たちはすぐに対応します



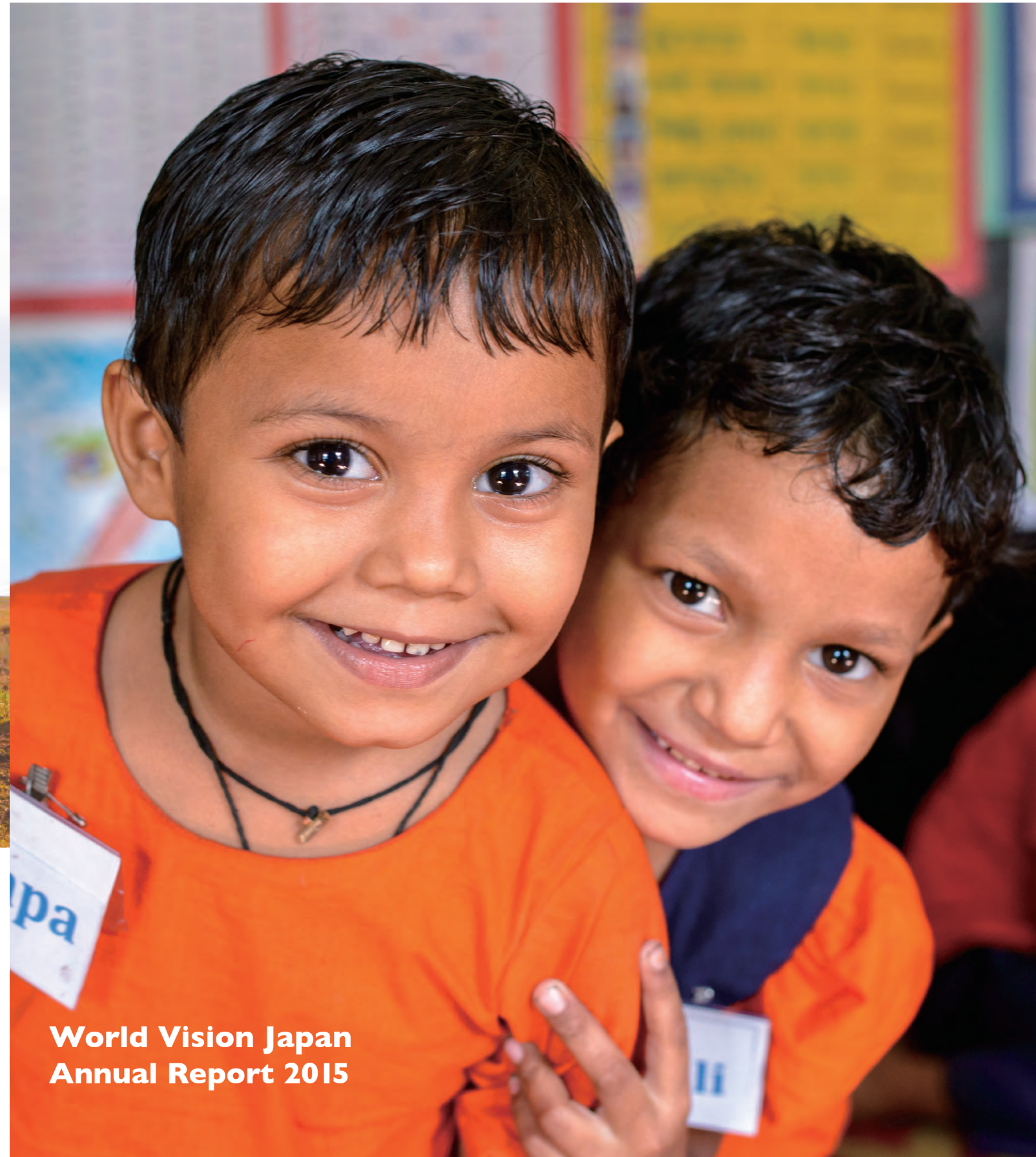
特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン
2015年度年次報告書

2016年3月1日発行
発行 特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン
〒164-0012 東京都中野区本町1-32-2 ハーモニータワー3F
TEL 03-5334-5350(代) FAX 03-5334-5359
ホームページ www.worldvision.jp
郵便振替 00130-6-254059

当団体は「認定NPO法人」です。皆さまからの寄付は寄付金控除等の対象となり、税制優遇措置を受けられます。
本書の一部または全部を無断で複写、転載引用することを強く禁じます。

ワールド・ビジョン・ジャパン 2015年度 年次報告書

2014年10月－2015年9月



**World Vision Japan
Annual Report 2015**

ごあいさつ



特定非営利活動法人
ワールド・ビジョン・ジャパン
理事長

榊原 寛

2015年9月、次の15年間で国際社会が目指すべき「持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）」が、国連で採択されました。貧困、飢餓、教育にとどまらず、気候変動や平和等の問題解決を目指し、17の目標が誕生しました。しかも、途上国だけでなく先進国も目標達成の義務を負います。世界が一致しなければ達成できない意欲的な目標に向かって、世界は動き出しました。テロの脅威、シリアや南スーダン等の難民問題、ネパールを襲った天災等、世界は休まる時を知りません。しかし、SDGsの名のもとに国際社会が協調したこともまた事実です。私たちはその事実を信じ、歩みを進めなくてはなりません。

「この子を救う。未来を救う。」ワールド・ビジョン・ジャパンのロゴマークに光る言葉です。一人の子どもの健やかな成長、そして平和が実現されなければ、未来は遠のきます。今年も、一人でも多くの子どもたちが豊かないのちを生きられるよう、世界の目標を見据えつつ私たちにできることを一生懸命に積み上げてまいります。

支えてくださる皆さまに心から感謝し、年次報告書をお届けいたします。

今後とも、皆さまの深いご理解と温かいご支援を賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。



特定非営利活動法人
ワールド・ビジョン・ジャパン
常務理事・事務局長

片山 信彦

本年は、団体として取り組む「3カ年計画」の一年目でした。活動の柱に据えた目標の中には、「厳しい経済環境の中でも支援者を拡大し、より多くの支援を届ける」というものがありましたが、経常収益は49億8,302万円（前年比9%増）にのぼり、51,995人のチャイルド・スポンサーの皆さまをはじめ、多くの方々とともに子どもたちへ支援を届けることができました。

また、「より質の高い事業を実施し、より多くの子どもたちの生活向上を目指す」という目標に対しては、保健や水衛生部門の支援方針をまとめ、事業の質向上に取り組みました。

さらに外務省や国際協力機構（JICA）、国連世界食糧計画（WFP）等との連携事業や、シリア難民危機やネパール大地震に対する緊急人道支援を通じて、多くの子どもたちの生活向上に貢献できました。

ワールド・ビジョン・ジャパンの活動を通じて、日本は自国の利益だけを考えるのではなく、世界に貢献しようとする市民や団体がいることを具体的に示すことができたのではないのでしょうか。来る年度も、円安をはじめ厳しい経済状況が続くものと心得ますが、スタッフ一同、さらなる改善とイノベーションに挑んでまいります。

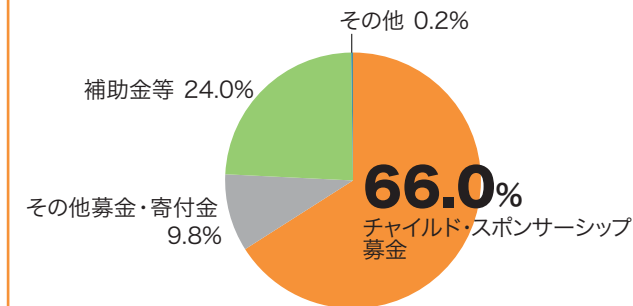
数字で見るワールド・ビジョン・ジャパン（WVJ）

WVJは、チャイルド・スポンサーシップ等により地域の貧困解決を目指す「開発援助」、災害・紛争時の「緊急人道支援」、問題解決のためにできることを市民社会や政府に訴える「アドボカシー」を活動の3本柱として、世界で活動しています。WVJの2015年度の活動概要を、数字でご報告します。

2014年10月～2015年9月

■資金の集め方

経常収益 **49億8,302万円**



詳しい会計報告は、P16をご覧ください。

■チャイルド・スポンサー数

51,995人

■チャイルド・スポンサー以外の募金者数

10,022人

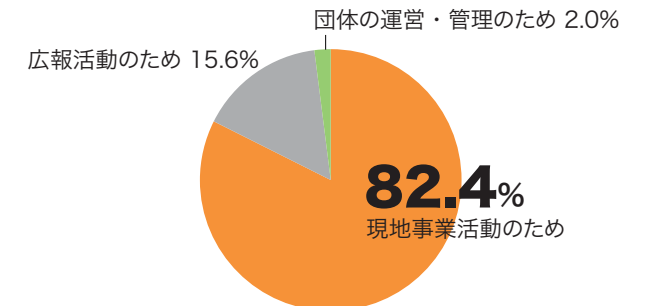
■補助金等による支援

9団体 37件



■資金の使い方

経常費用 **49億6,531万円**

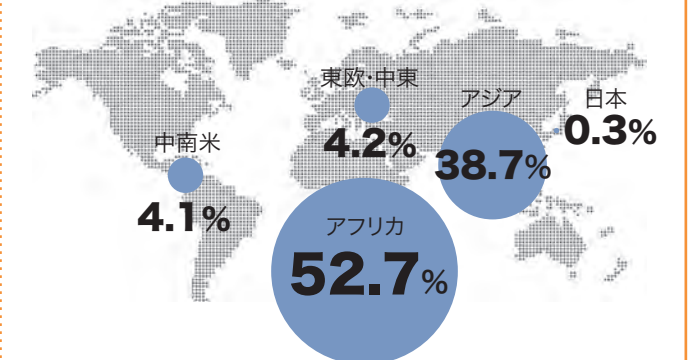


詳しい会計報告は、P16をご覧ください。

■活動分野の割合



■活動地域の割合



■チャイルド数

61,954人

■チャイルドからチャイルド・スポンサーへの手紙

54,000通以上

■連携企業・団体数

2,653社・団体

■交流イベント開催回数

全国で25回

■ワールド・ビジョン・ジャパン職員数

80人

（嘱託・アルバイト6人含む）

■ボランティアスタッフ数

420人

■総事業数

31カ国で121事業

（東日本大震災緊急復興支援事業含む）

■開発援助事業数

23カ国で88事業

うち、チャイルド・スポンサーシップ事業数 **22カ国で56事業**

■緊急人道支援事業数

12カ国で33事業

（東日本大震災緊急復興支援事業含む）

2015年度、ワールド・ビジョン・ジャパンは開発援助(チャイルド・スポンサーシップ等)、緊急人道支援、アドボカシーを柱として、世界31カ国で121事業を実施しました。

南スーダン難民の子どもたちが勉強を続けられるよう、学習支援を実施。「学校で色んなことを勉強できて嬉しい!」と語る女の子(左)と村松スタッフ(緊急人道支援 / エチオピア)

移動診療による実地研修に参加する女学生。「医療設備が整っていない地域での診療に自信ができました」(緊急人道支援 / アフガニスタン)

保健スタッフに啓発活動用教材の説明をする木戸スタッフ(開発援助 / ベトナム)

支援を受け、トウモロコシの収穫量が飛躍的に向上した家族(ムキンガADP/ タンザニア)

支援により新しくできた図書館で、本を手に取る女の子(バクサン ADP/ ラオス)

これまでの事業を評価するため、子どもたちから聞き取りをする平本スタッフ(トゥンワADP/ タイ)

地域の学校に通う子どもたち(ティエラ・ヌエバADP/エルサルバドル)

支援により、乳製品の加工技術を身に付けた地域住民と松岡スタッフ(ブンガラADP/エクアドル)

完成した保健施設について現地スタッフと打合せをする藪崎スタッフ(開発援助/マラウイ)

支援地域の子どもたちと蘇畑スタッフ(キラユ ADP/インド)

ネパール大地震で被災した子どもたちが自由に遊べる場所を設置。子どもたちと遊ぶ坂スタッフ (緊急人道支援 / ネパール)

工事の進捗確認のため、山奥の水源に到着した地域住民と頼田スタッフ(開発援助 / 東ティモール)

多くの日本人スタッフが、世界各地で支援活動に従事しています

池内 千草	カンボジア	2010年 9月～
三浦 真穂	ベトナム	2012年11月～
木戸 梨紗	ベトナム	2012年12月～
三浦 曜	東ティモール	2013年 2月～2015年 5月
頼田 優女	東ティモール	2015年 6月～
原田 真梨	マラウイ	2013年 3月～2015年 3月
藪崎 拓子	マラウイ	2013年 3月～2015年 7月
岡崎 文香	スリランカ	2013年12月～
國吉 美紗	ヨルダン	2014年 5月～2015年 4月
渡邊 裕子	ヨルダン	2015年 3月～
村松 良介	エチオピア	2014年 8月～2015年 5月
田中 映江	エチオピア	2014年10月～2015年 6月
古田 ちあき	エチオピア	2015年 9月～
山野 真季葉	ネパール等	2011年10月～

東欧・中東

- アフガニスタン
- イラク
- パレスチナ自治区
- ヨルダン

アフリカ

- ★ ■ エチオピア
- ★ ■ ケニア
- ★ ■ ルワンダ
- ソマリア
- 南スーダン
- スーダン
- ★ ■ タンザニア
- ★ ■ ウガンダ

- ★ ■ コンゴ民主共和国
- ★ ■ マラウイ
- ★ ■ スワジランド

アジア

- ★ ■ カンボジア
- ★ ■ ラオス
- ★ ■ モンゴル
- ★ ■ ミャンマー
- ★ ■ タイ

- ★ ■ ベトナム
- ★ ■ バングラデシュ
- ★ ■ インド
- ★ ■ インドネシア
- ★ ■ ネパール

- 東ティモール
- ★ ■ フィリピン
- ★ ■ スリランカ
- 日本

中南米

- ★ ■ エクアドル
- ★ ■ エルサルバドル

- ワールド・ビジョン・ジャパン活動国
- ★ チャイルド・スポンサーシップによる地域開発プログラム(ADP)を行っている国
- ADP以外の開発援助事業を行っている国
- 緊急人道支援を行っている国

—子どもを取り巻く環境を改善する長期的な支援—

チャイルド・スポンサーシップによる支援は、一人の子どもだけを対象にしたお金や物の提供ではありません。支援地域の人々が子どもの健やかな成長のために必要な環境を整えていけるよう、水衛生、保健、栄養の改善、教育機会の拡充、生計向上等の活動を行います。活動の成果を地域の人々自身が将来にわたって維持し、発展させていけるように、人材・住民組織の育成にも力を入れています。



保健

病気から守ります

地域で保健サービスを提供できる人材を育成します。地域の医療機関と連携して、マラリアや下痢予防、妊産婦ケア等の啓発・トレーニングを行います。



医療施設がない地域で実施する巡回診療の様子(ムキンガADP/タンザニア)



生計向上

家族の収入を増やします

子どもたちの家族がより安定して収入を得られるように、畜産・農業支援、職業訓練、貯蓄・融資組合の活動支援を行います。



乳牛の支援を受け、安定した現金収入を得られるようになった家族(キラムルジADP/ルワンダ)

■手紙によるチャイルドとの交流

-支援地域に住む子ども(チャイルド)とつながる-
54,000通以上のチャイルドの手紙、成長報告、グリーティングカードをチャイルド・スポンサーの皆さまにお届けしました。また、ホームページからチャイルドに手紙を送れる「Eレター」は開始2年目を迎え、利用は約2,000通にのびりました。

チャイルド・スポンサーからの手紙に返事を書くチャイルド(フィリピン)



■ツアーによる支援地域訪問

-チャイルドと現地の人々の心に触れる旅-
3月にルワンダ、8月にインドと2つのツアーを開催し、合計27人のチャイルド・スポンサーが支援地域を訪れました。チャイルドとの感動の対面、地域の人々とのレンガ作り、子どもたちによる発表等、心に残る時間となりました。

ダンスで歓迎してくれたチャイルドと手を取り合って喜ぶチャイルド・スポンサー(ルワンダ)



■チャイルド・スポンサー募集キャンペーン

-より多くの子どもを支えるために-
2014年11月1日(土)～12月26日(金)まで、「いっしょに幸せになるうキャンペーン」を実施し、新たに2,443人の子どもたちにチャイルド・スポンサーを紹介することができました。ワールド・ビジョン フェスや、映画「世界の果ての通学路」の上映会等を通して、多くの方に世界の子どもの現状をお伝えしました。



東京事務所で開催したワールド・ビジョン フェスでは、ルワンダのチャイルドと中継を結ぶ等、様々なプログラムをご用意しました



栄養

発育を支えます

子どもたちの栄養状態を定期的にモニタリングし、保護者を対象に、栄養改善につながる啓発・トレーニングを行います。



栄養価が高い食事の作り方を広める講習会を行う女性グループ(カルマカシタADP/バングラデシュ)



教育

学ぶ環境を整えます

地域のリーダーや保護者を対象に啓発活動を行って教育の重要性を伝え、子どもたちが教育を受けられるよう働きかけます。また、教育施設・備品の整備や教師へのトレーニングを行います。



支援と地域住民の力が一体となり開始された幼稚園で学ぶ子どもたち(コルタADP/エクアドル)



水衛生

安全な水が飲めるようになります

安全な水の確保は、子どもたちが病気になることを防ぐために欠かせません。井戸や貯水タンク設置のほか、トイレの整備を行います。



井戸が建設され、安全な水が使えることを喜ぶ子どもたち(リディマリヤッタADP/スリランカ)

―22カ国で56事業を行いました―

チャイルド・スポンサーシップは、約15年という長期間にわたって、住民とともに活動を進めます。
支援期間は、準備期とそれに続く4段階に分かれ、各段階の目的に応じた活動を行います。



診療所ができました



赤ちゃんの予防接種のため、新しくできた診療所に集まったお母さんたち(グウィザADP/ルワンダ)

学習できる環境を整えました



先生のトレーニングや学校で使う備品等、子どもたちが学ぶ環境を整えました(ムオンチャADP/ベトナム)

新しい井戸ができました



家の近くに井戸ができたため、子どもたちは遠くまで水汲みに行かなくてよくなりました(キルヤンガADP/ウガンダ)

農業の知識を学びました



カカオ農家のムフタルさん(右/46歳)。「以前は経験だけを頼りに栽培していましたが、WVのトレーニングで様々な農法を学びました。自分の畑でも実践していますし、他の農家にも伝えています」(トウナADP/インドネシア)

地域ボランティアが立ち上がりました



補習学校で、地域ボランティアが学校に行けない子どもたちを対象に読み書きを教えています(ゴンドール・ズリアADP/エチオピア)

職業訓練を行いました



地域の貧しい女性たちを対象に職業訓練を行い、その製品を販売することで家庭の収入向上を目指します(ハイラアストADP/モンゴル)

防災活動に取り組みました



「世界防災の日」にあわせ、地域の人々に防災についての啓発活動を行う子どもたち(カルマカングADP/バングラデシュ)

支援の成果が継承されました



スタッフの尽力により女性器切除、早婚から救出された女性(左)は、現在では学校の先生として子どもたちのために働いています(オレントンADP/ケニア)

子どもたちが主体的に活動しました



地域の問題(子どもに対する暴力、HIV/エイズ等)について、啓発ビデオを撮影する「子どもフォーラム」のメンバーたち(ススカンADP/インドネシア)

準備期

地域住民や行政関係者との関係構築、支援ニーズ調査、事業計画策定等

準備期 該当プログラムなし

第1期

チャイルドの登録、住民組織づくり、地域住民や行政関係者との関係構築、保健衛生・栄養・教育等の啓発活動や基盤整備、収入向上のための研修や機材・資金等の提供等

第1期 該当プログラム

トモ・ブオ、ボレイ・チュルサー(カンボジア)、タバント、バクサン(ラオス)、トゥンワ、タブラヤ(タイ)、ムオンチャ、トアンザオ(ベトナム)、ビルゴンジ、カハロル(バングラデシュ)、サイダベット、キラユ、ブドゥコッタ、カンドゥクール(インド)、トウナ(インドネシア)、西ドティ(ネパール)、ガンガ・イヘラ・コーラ、リディマリヤダ(スリランカ)、レイテ、サマール(フィリピン)、グウィザ(ルワンダ)、ムキンガ(タンザニア)、ナンコマ(ウガンダ)、ゲゲ(スワジランド)、コルタ(エクアドル)、ティエラ・ヌエバ、サンアグスティン(エルサルバドル)

第2期

活動内容の拡大や修正、新たな住民組織づくりや育成、第1期での活動のモニタリングやフォローアップ、地域レベルのアドボカシー(行政への働きかけ)等

第2期 該当プログラム

ポニャー・ルウ(カンボジア)、バランサイ(ラオス)、ハイラアスト、バヤン・ウルギー(モンゴル)、タブ・タオ(タイ)、バンエン、チャンエン(ベトナム)、フルバリア、ピロル(バングラデシュ)、ゴンドール・ズリア、デラ(エチオピア)、イラマタク、キアムボゴ(ケニア)、キラムルジ(ルワンダ)、ムゲラ、ゴロワ(タンザニア)、ナラウェヨ・キシータ、キルヤンガ(ウガンダ)、トヨタ、カンボ(コンゴ民主共和国)、クーユ、カリラ(マラウイ)、シェウラ(スワジランド)、ブンガラ(エクアドル)

第3期

第2期での活動の継続や持続的発展に向けた体制づくり、地域住民の主体性を伸ばす研修、地方行政や現地NGO等との連携強化、財源確保のための働きかけ等

第3期 該当プログラム

タバウン(ミャンマー)、カルマカング(バングラデシュ)、オレントン(ケニア)

支援卒業準備期
(終了まで3年以内)

支援卒業準備期 該当プログラム
ススカン(インドネシア)、ンゲレンゲレ(タンザニア)

※これらの3つのADPは、2015年9月をもってワールド・ビジョン・ジャパンの支援を終了し、他国のワールド・ビジョンによって支援が引き継がれました。

―日本政府の資金協力等により、スリランカやベトナムで事業を実施しました―

■スリランカ

―家畜の命を守ることで、内戦後の人々の暮らしを支えています―

内戦終結後、避難民キャンプから帰還した住民の多くが家畜で生計を立てていますが、圧倒的に獣医が足りず、家畜が病気になったり、死んでしまうことが課題でした。こうした状況を改善するため、

JICA（国際協力機構）草の根技術協力事業の委託事業として、家畜に人工授精やワクチン接種等の技術サービスを提供する、30名の「村落家畜普及員」を養成しています。



村落家畜普及員たちと酪農先進地域を視察する岡崎スタッフ



牛にワクチンを接種できるようになった村落家畜普及員

■ベトナム

―山岳少数民族のお母さんと赤ちゃんの命を守ります―

外務省の日本NGO連携無償資金協力により、ベトナム北西部の山岳少数民族を対象に、妊産婦と新生児の健康改善のための活動を実施しています。保健施設の改修、医療機器の提供、保健スタッフへの研修、村落出産助産者の育成、保護者への正しい母子保健についての知識の普及や教材の開発等、多角的な活動を行っています。



妊娠中の危険サインを妊婦に説明する助産師（左）

―ネパール大地震とシリア紛争の影響を受けた人々に支援を届けました―

■ネパール

―被災者の命をつなぎ、不安をやわらげる支援を実施しました―

4月25日の地震発生直後から被害状況の把握に努めるとともに、生活物資の配布、子どもや女性が安全に過ごせる場所の設置、仮校舎の設置、生活再建支援等を実施しました。日本および世界中からお寄

せいただいた募金により、9月末までにカトマンズ、バクタプール、ラムジュン等10郡で、約21万人に支援を届けることができました。



子どもたちの精神的負担をやわらげるため、子どもが安全で自由に遊べる場所（チャイルド・フレンドリー・スペース）を設置



被災者に支援物資を届ける坂スタッフ

■ヨルダン

―シリアとヨルダンの子どもたちが勉強を続けられるように―

（特非）ジャパン・プラットフォームの助成を受け、ヨルダン北部のイルビドとザルカの公立小学校において、シリア難民の子どもたちと、難民を受け入れているコミュニティのヨルダン人の子どもたちを対象に、補習授業を行っています。補習授業の前後には、絵を描いたり、工作をしたり、集団遊びやゲーム等のレクリエーション活動も行っています。



補習授業の合間に絵を描く子どもたち

駐在スタッフ便り



渡邊裕子スタッフ

難民の子どもたちが急増したため、地域の公立学校では午前・午後の二部制を導入し、シリア難民とヨルダン人の子どもたちは別々のシフトで勉強しています。夏休みに両方の子どもたちを集めて、一緒に勉強やレクリエーション活動を行ったところ、お互いのことを思いやることができるようになりました。子どもたちの健全な成長と地域の未来のために、これからも活動を続けていきたいと思っています。



補習授業を見学したときの様子

駐在スタッフ便り



木戸梨紗スタッフ

3年間の事業期間を通じて、地域住民に対して妊婦さんと赤ちゃんのケアについての知識を広める啓発活動を行ってきました。その結果、ある保健センターでは、年間2件だった分娩件数が事業開始後には35件まで増えました。月1回村落で「保健クラブ」を開いたり、家庭訪問を行う等、地域の保健スタッフや啓発活動を行うコミュニケーターの日々の努力の積み重ねの結果だと思っています。最近では、こうしたスタッフが自信を持って活動するようになってきており、とても嬉しく思います。



研修を受けた村落出産助産者と

—子どもの命や権利を守るため、世界のリーダーに働きかけました—

■政策提言

—子どもたちの命を重視した提言等が実を結びました—

国際社会が2030年までに達成を目指す「持続可能な開発目標（SDGs）」が、2015年9月に国連で採択されました。新たなアジェンダには、子どもの命を守るための目標が数多く設定され、これまで取り組んできた提言活動や、多くの皆さまにご協力いただいたキャンペーン「命の木プロジェクト」が結実しました。



国連本部にて。国連総会に参加した柴田スタッフ（左）と志澤スタッフ（右）

■他のNGOやネットワークとの連携

—G7サミットに際し、世界各国のNGOと連携しました—

2015年6月にドイツのエルマウで開催されたG7サミットに先立ち、4月にベルリンでメルケル首相出席のもと実施された「G7市民社会対話」において、主要7カ国が子どもの保健や栄養改善へ向けてリーダーシップを発揮するよう訴えました。世界各国のNGOと連携した働きかけにより、G7エルマウ・サミット首脳宣言では子どもの保健に関する宣言が盛り込まれました。



「G7市民社会対話」には日本、ドイツ、アメリカ、イギリス等のNGOが参加しました。保健に関するワーキング・グループのメンバーと柴田スタッフ（前列左から2番目）

■国連防災世界会議

—子どもたちの訴えが採択文書に—

3月に仙台市で開催された国連防災世界会議。世界の新たな防災・減災対策が話し合われたこの会議に、ワールド・ビジョンは、子ども支援団体のグローバルネットワーク「気候変動の時代を生きる子どもたち」の一員として参加。モンゴルとインドネシアのチャイルドは、ワールド・ビジョン代表として、子どもを防災・減災対策の中心に据えるよう、他団体の子どもたちとともに連日訴えました。その結果、採択文書には子どもと若者が変革をもたらす存在として明記され、災害リスク軽減の活動を政治や教育が後押しすることが盛り込まれました。



潘基文国連事務総長と握手する、モンゴルから来日したルブサンシャラブ君。事務総長の前で意見を表明しました

—多くの方が様々な形で、支援の輪に加わってくださいました—

■グローバル教育

—4,389人の子どもたちや若者が参加しました—

日本の子どもたちや若者が世界の現状に目を向け、国際協力に参加することを願い、グローバル教育を実施しています。派遣授業を33件実施し、事務所訪問を22件受け入れました。また、小学生向け「サマースクール」や、保護者向けプログラム「グローバルキッズを育てるヒント」等のイベントも開催。新しい教材「人身取引」を学ぶワークブックも多くの方にご利用いただきました。



日本でも深刻な問題となっている「人身取引」を学ぶワークブックを、中学生や高校生のアイデアをもとに作成しました

■ボランティア

—420人の皆さまが支えてくださいました—

1日約10～15人のボランティアの皆さまが事務所に来てください、手紙の翻訳やデータ入力、発送事務作業等、幅広くご協力くださいました。日本のみならず世界各地でも、インターネットを通じた在宅翻訳のご協力をいただいています。また、中学生や高校生等、学生の皆さまにも多数ボランティアにご参加いただきました。



チャイルドの手紙の翻訳、チャイルド・スポンサーの皆さまへの資料発送等をサポートしてくださっています

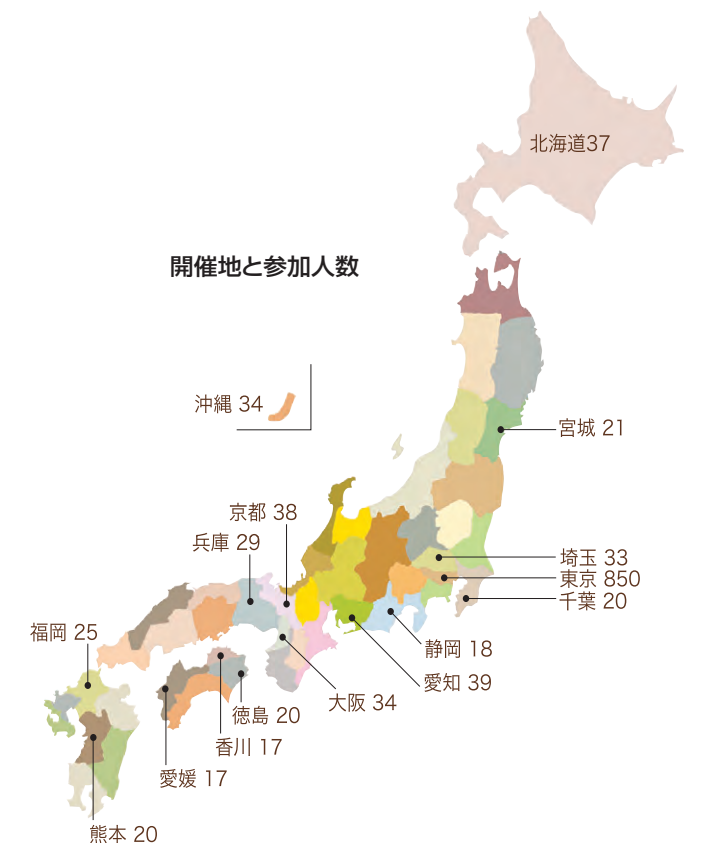
■交流イベント

—全国で開催、のべ1,252人が参加しました—

支援地での活動を報告するワールド・ビジョン カフェ等を全国で25回開催し、1,252人がご参加くださいました。「私たちの支援が本当に役に立っていることが分かりました」「同じ想いの方とお話できて楽しかったです」等の感想をいただきました。また、映画「世界の果ての通学路」上映会やワールド・ビジョン フェス等、皆さまに楽しんでいただけるイベントも開催しました。



ワールド・ビジョン カフェでは、参加者同士が楽しく交流できる時間も設けています



■企業との連携

—1,468社から、総額248,020,699円のご支援をお寄せいただきました—

企業の皆さまから、チャイルド・スポンサーシップ、学校や診療所建設等の特別プロジェクトによるご支援、社員募金と企業のマッチング募金、商品売り上げからの寄付、広報協力等、様々な形でご支援をいただきました。（五十音順）

株式会社NTTデータ



株式会社エヌ・ティ・ティ・データは、多様なビジネス領域で、様々なシステム構築・ITサービスを提供しています。2007年よりチャイルド・スポンサーシップによるご支援を継続くださり、社員の皆さまからの募金と法人としての寄付を組み合わせ、アジアとアフリカの子どもたちをご支援くださっています。

株式会社さわか俱樂部



株式会社さわか俱樂部は、全国で介護付き有料老人ホーム等の介護施設を運営する会社です。チャイルド・スポンサーシップにより、介護施設1カ所につき1人のチャイルドをご支援いただいております。同一グループ企業の「株式会社ボナー」とあわせ、総計42名のチャイルドをご支援いただいております。

株式会社スタートトゥデイ



株式会社スタートトゥデイは、日本最大のファッションショッピングサイトZOZOTOWNの運営等の事業を展開する会社です。ネパール大地震発生直後に、WVJを通して被災された子どもたちや人々への支援を決定され、ショッピングサイトの売り上げからネパールでの緊急復興支援活動のために寄付をくださいました。

住友化学株式会社



住友化学株式会社には、「オリセット®ネット」事業で得た売り上げの一部を使い、これまでにアフリカ11カ国18プロジェクト※の小・中学校の校舎建設や教育環境改善を中心とした様々なご支援をいただきました。今年度は、ミャンマーでの保健センター建設とタンザニアでの小学校建設、机・椅子や備品の設置、トイレ建設のご支援をいただきました。※他社との共同支援も含む。

セブン&アイ アベスコ基金



「セブン&アイ アベスコ基金」は、株式会社セブン&アイ・ホールディングス傘下の株式会社イトーヨーカ堂が飲料メーカー等と共同で、国際人道支援活動等に取り組む団体を支援することを目的に設立した基金です。チャイルド・スポンサーシップを通して、バングラデシュ、カンボジア、ミャンマー等アジア10カ国に暮らす20名の子どもたちを継続してご支援くださっています。

株式会社タイセイ



株式会社タイセイは、先進的な建築材料の製造販売を行っている会社です。2009年よりチャイルド・スポンサーシップを通して多くのチャイルドをご支援くださるとともに、小学校建設や給水システム整備等のご支援をいただいております。2015年度は、タイの3つの学校で、学校に通う子どもたちが安心して飲める水を確保できるよう、給水システム整備をご支援いただきました。

株式会社ダッドウェイ



株式会社ダッドウェイは、育児ブランドやペット用品等を企画・輸入・販売しています。2006年からチャイルド・スポンサーシップによるご支援とともに、その時々の子どもの必要にこたえるために寄付をいただいております。また、イベントでの活動紹介やパンフレットの配布等、広報面でもご協力をいただいております。

株式会社チュチュアンナ



株式会社チュチュアンナは、靴下やインナーの専門店を国内外に展開する会社です。チャイルド・スポンサーシップを通して25名のチャイルドをご支援いただいております。また今年度は、ネパールの特に貧しい地域で、就学前教育センターの整備事業と、高校の女子寄宿舎整備事業を実施され、子どもたちが安心して安全に学び、1人でも多くの子どもたちが教育を継続できるようご支援いただきました。

東芝プラントシステム株式会社



東芝プラントシステム株式会社は、発電プラントや一般産業プラント、公共施設等の社会インフラ設備を建設しています。2010年から毎年、アジア・アフリカにおける子どもたちの生活・教育環境を改善するためのご支援をいただいております。今年度は、フィリピンの貧困地域で人々の念願だった飲料水道が設置され、タンザニアではより多くの子どもたちに教育機会をひらくことになる教室が完成しつつあります。

株式会社FUJITSUユニバーシティ



株式会社FUJITSUユニバーシティは、富士通グループおよび業界をリードする高度人材を育成するために、富士通グループが設立した人材育成機関です。途上国支援と社員研修を組み合わせた新しい連携が実現し、チャイルド・スポンサーシップを通してご支援いただいているミャンマーを、研修参加者が訪問しました。事業地の視察、子どもたちや住民との交流等を通して「多くの学びがあった」等の感想をいただきました。

株式会社プレコフーズ



株式会社プレコフーズは、「安全」「品質」「鮮度」に優れた食材を取扱う新鮮食材卸です。10年以上にわたり、チャイルド・スポンサーシップと、学校や保健センター建設等のプロジェクトをご支援くださっています。今年度はベトナムの山岳地帯で、少数民族の子どもたちが学ぶ小学校に調理室を建設いただき、家が遠く寮生活を送る子どもたちが、衛生的に調理された食事をとれるようになりました。

三菱製鋼株式会社



三菱製鋼株式会社は、特殊鋼鋼材、ばね、索形材製品等の製造、加工および販売を行っています。災害に際しての緊急援助や、世界の子どもたちのためにその時々に応じた支援にご協力いただいております。2015年度は児童保護募金に多くの寄付をいただき、アフガニスタンや南スーダン等で、赤ちゃんとお母さんの命と健康を守るための母子保健支援事業に活用させていただきました。

ミヨシ石鹸株式会社



ミヨシ石鹸株式会社は石鹸や香粧品の製造、販売を行う専業メーカーです。15年の長きにわたりご支援いただいております。中でも、2009年からは、多くの子どもたちのチャイルド・スポンサーとして、アジア、アフリカ、中南米の国々において、チャイルド・スポンサーシップによる支援活動を支えてくださっています。

山崎製パン株式会社



デイリーヤマザキやヤマザキショップ等に設置したヤマザキ「ラブ・ローフ」募金箱からの寄付により、モンゴルにおいて、劣悪な衛生環境に苦しむ子どもたちのために2つの学校で給排水設備やトイレ等を設置し、住民への衛生に関する啓発活動等をご支援いただきました。また、ネパール大地震緊急支援にも協力いただき、生活物資等の配布や、人々や子どもたちの生活再建を目指した支援等に活用させていただきました。

ヨシリツ株式会社



ヨシリツ株式会社は、パズルブロックLaQ(ラキュー)等の知育玩具やアイデア商品の企画・開発、製造・販売、卸売りをしています。製品を通じて世界の子どもたちの遊びと学びに貢献されると同時に、厳しい環境で生活する子どもたちにも貢献されたいと、チャイルド・スポンサーシップを通してご支援くださっています。子どもの日に際しては、ヨシリツとWVJが協働して親子向けイベントを開催しました。

若尾製菓株式会社・ジースプレッド株式会社



若尾製菓株式会社は、観光土産やギフト菓子の受託生産を展開する菓子メーカーです。チャイルド・スポンサーシップを通じたご支援に加え、全国で販売されている「しあわせのカルデットクランチ」の売り上げ、および、支援の輪を広げるために設立されたジースプレッド株式会社のお菓子「Happy Gift」の売り上げからの寄付をあわせて、アジア・アフリカでの学校建設をご支援くださっています。

■各種団体との連携（一部のみ/五十音順）

—1,185団体、総額78,561,333円のご支援をお寄せいただきました—

有東坂いのきクリニック
ウェスレアン・ホーリネス教団 淀橋教会
宇都宮二荒ライオンズクラブ
MS&ADゆにぞんスマイルクラブ
医療法人すみれ おおくぼ歯科クリニック
久遠キリスト教会
神の家族キリスト教会クリスチャンウェイ
グレースコミュニティ
気仙沼漁業協同組合
医療法人社団スマイルこどもクリニック
東京フリーメソジスト小金井教会
日本イエス・キリスト教団 荻窪栄光教会
日本キリスト教団 渋谷教会
日本ホーリネス教団 池の上キリスト教会、坂戸キリスト教会
公益財団法人毎日新聞東京社会事業団



■チャイルド・スポンサーシップ以外の募金

—子どもたちの多様なニーズにこたえることができました—

チャイルド・スポンサーシップ以外にも、皆さまから53,387件の募金をお寄せいただきました。これらの募金は、国際機関や政府等からの助成金と組み合わせることにより、大規模な開発援助事業や災害・紛争時の緊急人道支援事業につなげ、世界の子どもたちの多様なニーズにこたえることができました。

2015年度募金実績（主要な募金プログラム）※募金実績全体の詳細はP17（会計報告の注記）をご参照ください

募金名	活動内容	支援対象国	募金額（円）
児童保護募金	母子保健：妊娠・出産したお母さんと赤ちゃんの命と健康を守るために	アフガニスタン、南スーダン、カンボジア、ベトナム、マラウイ、ルワンダ、ソマリア	78,944,604
クリスマス募金	食糧と水：子どもたちに今日の食糧と中長期的な食糧・水の安定確保、そして、栄養改善を支援するために	ソマリア、ルワンダ、東ティモール、スーダン、南スーダン、ミャンマー、スリランカ	98,238,421
夏期募金	緊急難民支援：難民の子どもたちに教育の機会を提供し、未来への希望を拓くために	ヨルダン（シリア難民） エチオピア（南スーダン難民）	58,071,210
特別プロジェクト募金	学校、保健施設、水・衛生施設建設等の個別プロジェクト	フィリピン、タンザニア、タイ、ベトナム、マラウイ、ケニア、ネパール、ルワンダ、バングラデシュ、カンボジア	63,267,502
ネパール大地震緊急支援募金	生活物資の支援、安全に過ごせる場所の提供、仮校舎設置、生活再建支援、水供給・衛生環境改善	ネパール	101,058,387

■ラブギフト

—新しい募金のかたちで、子どもたちが笑顔に—

制服・バッグ・ノート等が入った通学セットや、ミルクを出すヤギ等、途上国に住む子どもたちの生活に役立つものをホームページで選び、その金額を募金すると、選んだものが子どもたちに届く「ラブギフト」。

期間限定（3月1日～4月20日）での実施でしたが、1,963セット（7,213,740円相当）が申し込まれ、タイやネパール、ケニア等の子どもたちにギフトが届けられました。



ラブギフトで贈られたヤギを喜ぶ子どもたち（ケニア）



■「愛の泉」チャリティーコンサート

—美しい音楽で、子どもたちに支援を届けました—

第15回「愛の泉」チャリティーコンサートが、2015年8月28日、山崎製パン株式会社を中心とした各社の協力により開催され、アフリカのコンゴ民主共和国における小学校建設のために多大な募金をいただきました。長く続いた内戦の影響で教育を受ける機会のなかった子どもたちに、2つの教室を持つ校舎と机や椅子等を支援することができ、子どもたちの教育環境が大きく改善されます。



コンサートの様子

正味財産増減の状況 2014年10月1日より2015年9月30日まで（単位：千円）

I.一般正味財産増減

経常収益				
1 受取寄付金	受取スポンサーシップ募金	3,286,107		
	受取その他募金・寄付金（1）	490,630	3,776,737	
2 受取補助金等（2）	政府系機関からの受取補助金等	329,660		
	民間団体からの受取助成金等	297,975		
	国連機関からの受取委託金等	566,971	1,194,606	
3 受取会費			620	
4 基本財産運用益・特定資産運用益・雑収益			11,060	
経常収益合計（A）			4,983,023	

経常費用				
1 事業費	地域開発援助事業費	4,064,544		
	地域開発援助・委託援助事業費（※）	3,920,749		
	地域開発援助事業管理費（5）	143,795		
	人材派遣費（3）	24,958		
	啓発教育費	777,608		
	各種啓発教育費（4）	402,027		
	啓発教育事業管理費（5）	375,581	4,867,110	
2 管理費（5）			98,198	
経常費用合計（B）			4,965,308	

経常外収益				
1 固定資産売却益			141	
経常外収益合計（C）			141	

当期一般正味財産増減額（A）-（B）+（C）		17,856
一般正味財産期首残高		1,139,600
一般正味財産期末残高（D）		1,157,456

II.指定正味財産増減

当期指定正味財産増減額		-107,451
指定正味財産期首残高		158,723
指定正味財産期末残高（6）（E）		51,272

III.正味財産期末残高

正味財産期末残高（※※）（D）+（E）		1,208,728
---------------------	--	-----------

資産・負債の状況 2015年9月30日現在（単位：千円）

I.資産の部

1 流動資産		818,302
	現金預金	792,441
	前払金	23,642
	立替金	426
	仮払金	1,793
2 固定資産		593,629
	基本財産	50,000
	特定資産（6）	449,600
	補助金・助成金引当資産	51,272
	地域開発援助事業引当資産	316,000
	その他特定資産	82,328
	その他固定資産（7）	94,029
資産合計		1,411,931

II.負債の部

1 流動負債		120,875
	未払金	95,169
	預り金	1,678
	仮受金	1,524
	賞与引当金	22,434
	未払法人税等	70
2 固定負債		82,328
	退職給付引当金	82,328
負債合計		203,203

III.正味財産の部

1 指定正味財産	51,272
（うち特定資産(6)への充当額）	(51,272)
2 一般正味財産	1,157,456
（うち基本財産への充当額）	(50,000)
（うち特定資産(6)への充当額）	(316,000)
正味財産合計	1,208,728
負債及び正味財産合計	1,411,931

※地域開発援助・委託援助事業費の内訳については、p19-20の支援事業一覧をご覧ください

※※正味財産の内訳は、資産・負債の部の状況のIII.正味財産の部を参照ください

（1）～（7）については、次ページからの「会計報告の注記」を参照ください。
特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパンは2015年度財務諸表等（2014年10月1日より2015年9月30日まで）について、以下の監査を受けています。
2015年11月9日 石川康彦公認会計士事務所による監査
2015年11月17日 監事による監査

【数字で見るワールド・ビジョン・ジャパン（P2）について】

●「資金の集め方」は、上記会計報告の「経常収益合計（A）」を100%とし、各項目には以下の科目を含みます。
チャイルド・スポンサーシップ募金：「受取スポンサーシップ募金」
その他募金・寄付金：「受取その他募金・寄付金」
補助金等：「受取補助金等」
その他：「受取会費」「基本財産運用益・特定資産運用益・雑収益」

●「資金の使い方」は、上記会計報告の「経常費用合計（B）」を100%とし、各項目には以下の科目を含みます。
現地事業活動のため：「地域開発援助事業費」「人材派遣費」
広報活動のため：「啓発教育費」
団体の運営・管理のため：「管理費」

会計報告の注記

●重要な会計方針の要約

- 1) 財務諸表の作成基準：特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパンは「公益法人会計基準」
(公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議申合せ 平成16年10月14日)に基づいて会計処理および財務諸表の作成を行っています。
- 2) 固定資産の減価償却について：定額法による減価償却を実施し、償却額控除後の価額を表示しています。
- 3) 引当金の計上基準：
賞与引当金：職員の賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上しています。
退職給付引当金：職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務および年金資産に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上しています。
- 4) 消費税等の会計処理：消費税等の会計処理は、税込み経理方式によっています。

(1)受取その他募金・寄付金の内訳(単位:千円)

児童保護募金	78,945
うち誕生日記念募金	43,478
ラブ・ローフ募金	17,538
緊急援助募金	110,245
うちネパール大地震緊急支援募金	101,058
危機にある子どもたちのための募金	2,698
クリスマス募金	98,238
夏期募金	58,071
特別プロジェクト募金	63,268
物資の受入	1,688
その他の募金・寄付金	59,939
受取その他募金・寄付金 合計	490,630

(2) 受取補助金等の内訳(単位:千円)

政府系機関からの受取補助金等	329,660
外務省NGO支援無償資金協力/連携無償資金協力	132,395
ベトナム/ディエンビエン省における妊産婦・新生児の健康改善事業(第2期)	7,875
ベトナム/ディエンビエン省における妊産婦・新生児の健康改善事業(第3期)	13,703
(当該事業に関しては、指定正味財産・特定資産として別途26,602千円保有しています。)	
東ティモール/ボボナロ県における水・衛生環境改善事業 第2年次	17,176
東ティモール/ボボナロ県における水・衛生環境改善事業 第3年次	40,775
(当該事業に関しては、指定正味財産・特定資産として別途19,154千円保有しています。)	
マラウイ/ンチン県母子保健関連施設整備事業 2年次	24,472
マラウイ/ンチン県母子保健関連施設整備事業 3年次	28,394
(当該事業に関しては、指定正味財産・特定資産として別途5,516千円保有しています。)	
外務省NGO長期スタディ・プログラム(平成26年度～27年度)	1,341
外務省NGO活動環境整備支援事業 NGOインターン・プログラム(平成26年度)	1,349
独立行政法人国際協力機構 草の根技術協力事業	21,535
スリランカ国キリノッチ県における小規模畜産農家の家畜生産性向上プロジェクト	21,535
デンマーク国際開発庁(DANIDA)	173,040
ソマリア干ばつからの回復プロジェクト	173,040
民間団体からの受取助成金等	297,975
特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム	296,141
南スーダン/アッバーナイル州マニョ郡における帰還民、社会的弱者および帰還先コミュニティ支援事業Ⅶ	▲8,769
南スーダン/マラカル周辺避難民に対する水・衛生緊急支援物資配布事業	▲170
南スーダン/西エクアトリア州教育支援事業	135,470
アフガニスタン/ヘラート州及び周辺地域における保健・医療従事者養成のための環境整備事業2	▲7,628
アフガニスタン/ヘラート州及び周辺地域における保健・医療従事者養成のための環境整備事業3	43,171
ヨルダン/シリア難民およびヨルダン人の子どもたちへの教育支援事業	▲18,289
ヨルダン/シリア難民およびヨルダン人の子どもたちへの教育支援事業2	79,971
エチオピア南スーダン難民キャンプでの緊急時における教育・子どもの保護事業	▲995
エチオピア南スーダン難民キャンプでの緊急時における教育事業2	39,315
エチオピア南スーダン難民キャンプでの教育環境整備事業(フェーズ3)	35,744
中国雲南省地震被災者の教育環境改善事業	▲1,679
味の素「食と健康」国際協力ネットワーク	1,834
バングラデシュ、フルバリア郡、栄養改善プロジェクト	1,834
国際機関からの受取委託金等	566,971
国連児童基金(UNICEF)	7,526
国連世界食糧計画(WFP)	401,138
うち、受取委託物品	345,555
国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)	96,990
世界基金(Global Fund)	61,317
受取補助金等 合計	1,194,606
マイナス表記となっている収入は、昨年度以前に受け取った補助金等を精算した際の返金額です。	

(3)人材派遣費

人材派遣費とは、地域開発援助事業等の事前調査・視察・調整のための短期調整員・駐在員・海外契約スタッフ・外部専門家派遣に関わる費用です。

(4)各種啓発教育費の内訳(単位:千円)

	啓発教育費合計	うち東日本分
広告費	308,642	0
各種広告費	278,328	
パンフレット等印刷費・通信運搬費他	30,314	
広報・アドボカシー費	23,669	8
年次報告書(2014年度版)制作・発送費等	2,037	8
団体ホームページ制作費等	18,622	
その他の広報活動費	759	
アドボカシー費	2,251	
ニュースレター制作・発送費等	22,254	0
チャイルド・スポンサーおよび寄付者への連絡物制作・発送費等	43,384	0
その他啓発費等	4,078	0
グローバル教育活動・学校訪問等の費用	890	
ラブ・ローフ募金箱の製作・運搬費等	1,022	
活動報告会	1,367	
その他の啓発活動費	799	
各種啓発教育費 合計	402,027	8

(5)事業管理費等の内訳、および集計(単位:千円)

事務局の運営に関わる事業管理費等は、以下の3つの科目に分けて計上しています。

地域開発援助事業管理費(以下、地開管理費)：地域開発援助事業に直接かかわる国内管理費
啓発教育事業管理費(以下、啓発管理費)：啓発教育事業に直接かかわる国内管理費
管理費(以下、管理費)：その他一般の国内管理費

各管理費の内訳、および内訳こととの集計は以下の通りです。

	事業管理費等合計	地開管理費	うち東日本分	啓発管理費	管理費
人件費等	391,788	104,105	7,370	215,174	72,509
会議費	6,462	2,852	147	1,154	2,456
旅費交通費	16,988	4,962	430	9,309	2,717
賃借料	62,821	17,303	1,466	34,820	10,698
支払手数料	76,750	65	8	75,249	1,436
その他の管理費	62,765	14,508	562	39,875	8,382
合計	617,574	143,795	9,983	375,581	98,198
人 件 費 等：職員等の給与手当、法定福利費等。なお2015年9月30日現在、職員74名、嘱託・アルバイト6名が在職 会 議 費：ワールド・ビジョン・パートナーシップ内等の国際会議出席のための渡航費用、その他国内会議費用 旅費交通費：職員の通勤費、事務ボランティアの方の事務所までの交通費等 賃 借 料：事務所家賃 支払手数料：入金にかかる口座引落およびクレジット決済等の手数料、銀行・郵便局等金融機関の振込手数料等					

(6)特定資産の内訳(単位:千円)

補助金・助成金引当資産(指定正味財産)の内訳	
WVベトナムオフィスへの前払金(地域開発援助事業費分)	26,602
WV東ティモールオフィスへの前払金(地域開発援助事業費分)	19,154
WVマラウイオフィスへの前払金(地域開発援助事業費分)	5,516
補助金・助成金引当資産 合計	51,272
当年度までに受領した上記事業にかかる補助金のうち、2016年度以降に支出を予定している金額です。	

地域開発援助事業引当資産の内訳	
スポンサーシップ地域開発援助事業引当資産(ア)	196,000
一般募金による地域開発援助事業引当資産(イ)	110,000
緊急援助事業引当資産(ウ)	10,000
地域開発援助事業引当資産 合計	316,000

- (ア) チャイルド・スポンサーシップによる事業(以下SP事業とする)に使途を特定した資産であり、2016年度以降のSP事業、為替相場変動によるSP事業への影響回避のための準備金、SP事業における緊急事態(緊急医療・自然災害・火災等)対応への準備金として、支出を予定しています。
- (イ) SP事業以外の地域開発援助事業(緊急・復興支援事業含む)に使途を特定した資産であり、2016年度以降に支出を予定しています。
- (ウ) 大規模な自然災害や紛争の発生時の、初動の緊急支援活動のための準備金です。

その他特定資産の内訳	
退職給付引当資産	82,328
その他特定資産 合計	82,328

(7)その他の固定資産の内訳(単位:千円)

建物附属設備	10,077
什器備品	6,557
ソフトウェア	37,721
電話加入権	373
敷金	39,301
その他の固定資産 合計	94,029

(8)保証債務等：
当団体は保証債務等の責は一切負っておりません。

(9)為替レートについて：

ワールド・ビジョン・パートナーシップでは、現地の地域開発援助事業等は米ドルにて予算管理を行っており、為替予約等によって、為替相場の変動による事業への影響をできるだけ抑えるよう努めています。

2015年度(2014年10月1日～2015年9月30日)の地域開発援助事業費の総平均レートは、1米ドル=104.45円でした。

監査と情報公開

ワールド・ビジョン・ジャパンでは、会計および業務全体に関して2名の監事による内部監査とともに、外部の独立した公認会計士に依頼して会計監査を受けています。その会計報告の概要は、年次報告書やホームページで公開しています。また、特定非営利活動法人および認定NPO法人としての事業報告書等を、所轄庁である東京都に提出し、情報公開を行っています。

ワールド・ビジョン全体としては、内部に監査機関を設置し、各国のすべての事務所が最低でも3～5年に一度、事務所全体の業務監査と会計監査を受けることになっています。もし監査の過程で疑義等が発生した場合は、その都度適切な対応を行います。



2015年度支援事業一覧

国名		プロジェクト名	チャイルド・スポンサー シップによる支援額	その他募金による支援額	助成金・委託金による 支援額		合計	受益者数(人)	チャイルド数 (人)
海外支援									
東 ア ジ ア	カンボジア	ボニヤー・ルウ地域開発プログラム	31,650,689				31,650,689	20,000	1,300
		トモ・ブオ地域開発プログラム	30,362,579				30,362,579	8,015	1,500
		ボレイ・チュルサル地域開発プログラム	29,451,803				29,451,803	27,106	1,500
		カンボジア・トモ・ブオ保健行政区母子保健改善事業		10,110,749			10,110,749	38,209	
		カンボジア王国チャエンブ郡水衛生環境改善支援事業		2,195,145			2,195,145	481	
	ラオス	バランサイ地域開発プログラム	33,087,426				33,087,426	10,000	1,700
		タバントン地域開発プログラム	27,071,531				27,071,531	12,000	1,500
		バクサン地域開発プログラム	28,360,651				28,360,651	12,000	1,500
	モンゴル	ハイラアスト地域開発プログラム	53,597,080				53,597,080	52,442	2,500
		ハヤン・ウルギー地域開発プログラム	57,135,944				57,135,944	18,000	2,500
		モンゴル国水・衛生環境改善支援事業		12,957,329			12,957,329	2,811	
	ミャンマー	タバウン地域開発プログラム	34,123,778				34,123,778	30,000	1,700
		シャン州における学校給食支援およびフード・フォロー・ワークを通じた地域 開発支援事業		663,265	1,062,201	C	13,895,913	5,559	
		カチン州におけるIDPへの食糧支援事業		540,217	12,170,447	物			
	タイ	タブ・タオ地域開発プログラム	16,584,358				16,584,358	6,100	1,000
		トゥンワ地域開発プログラム	15,388,763				15,388,763	14,500	1,300
		タブラヤ地域開発プログラム	14,793,138				14,793,138	36,285	1,200
		メコン拡大地域における人身取引地域プロジェクト	38,122,983				38,122,983	80,000	
		タイ王国タブラヤ郡学校給水支援事業		2,341,447			2,341,447	1,878	
		タイ王国タブタオ地区学校教室建設事業		2,195,044			2,195,044	463	
	ベトナム	バンエン地域開発プログラム	45,134,384				45,134,384	12,000	1,500
		チャンエン地域開発プログラム	29,980,697				29,980,697	18,000	1,400
		ムオンチャ地域開発プログラム	28,256,004				28,256,004	11,000	1,500
		トアンザオ地域開発プログラム	29,600,633				29,600,633	13,900	1,500
		ベトナム社会主義共和国子どもたちへの手編みセーター等配布事業		224,762			2,242,652	3,117	
				2,017,890	物				
		ティエンビエン省における妊産婦・新生児の健康改善事業(第2期)		1,192,961	5,399,608	A	6,592,569	8,375	
		ティエンビエン省における妊産婦・新生児の健康改善事業(第3期)		3,950,642	9,682,296	A	13,632,938	8,375	
		ベトナム社会主義共和国エンタイ幼稚園教室建設支援事業		2,194,033			2,194,033	41	
ベトナム社会主義共和国・フアンガイ少数民族小学校調理室整備支援事業			2,274,919			2,274,919	220		
バングラデシュ	カルマカンダ地域開発プログラム	56,186,241				56,186,241	57,300	2,000	
	フルバリア地域開発プログラム	71,179,673				71,179,673	165,301	3,500	
	ピロル地域開発プログラム	60,858,620				60,858,620	138,822	3,000	
	ビルゴンジ地域開発プログラム	56,687,330				56,687,330	73,600	2,500	
	カハロル地域開発プログラム	44,273,656				44,273,656	41,217	1,000	
	バングラデシュ、フルバリア郡、栄養改善プロジェクト			1,833,480	J	1,833,480	15,937		
	バングラデシュ人民共和国 サバイル小学校建設支援事業		3,660,091			3,660,091	164		
インド	サイダベット地域開発プログラム	28,471,869				28,471,869	42,000	1,400	
	キラユ地域開発プログラム	35,590,038				35,590,038	40,000	1,700	
	ブドゥコッタ地域開発プログラム	35,589,837				35,589,837	40,000	1,800	
	カンドウクール地域開発プログラム	25,802,732				25,802,732	35,903	1,300	
インドネシア	ススカン地域開発プログラム	17,023,468				17,023,468	40,586	500	
	トウナ地域開発プログラム	14,717,307				14,717,307	36,279	750	
ネパール	西ドティ地域開発プログラム	34,889,464				34,889,464	15,811	1,000	
	ネパール連邦民主共和国 女子寄宿舎整備事業		2,333,359			2,333,359	674		
	ネパール連邦民主共和国 就学前教育センター 整備支援事業		1,162,736			1,162,736	1,000		
	ネパール大地震緊急支援		58,237,914			58,237,914	152,500		
東ティモール	ボボナロ県における水・衛生環境改善事業 第2年次		15,426,694	16,391,666	A	31,818,360	2,600		
	ボボナロ県における水・衛生環境改善事業 第3年次		13,258,863	39,101,516	A	52,360,379	1,800		
フィリピン	レイテ地域開発プログラム	35,131,617				35,131,617	3,095	1,100	
	サマル地域開発プログラム	35,356,581				35,356,581	34,959	1,000	
	フィリピン共和国 水道システム整備支援事業		3,512,171			3,512,171	970		
	フィリピン台風緊急アピール募金事業(レイテ)		500,482			500,482	116		
	フィリピン台風緊急アピール募金事業(サマル)		1,290,738			1,290,738	424		
スリランカ	ガンガ・イヘラ・コーラレ地域開発プログラム	24,063,582				24,063,582	10,031	1,000	
	リディマリヤッダ地域開発プログラム	15,125,681				15,125,681	31,503	750	
東 ア フリ カ	エチオピア	スリランカ国キリノッチ県における小規模畜産農家の家畜生産性向上プロジェクト		3,079,877	14,193,136	H	17,273,013	10,030	
		ゴンダール・スリア地域開発プログラム	65,517,654				65,517,654	115,000	3,400
		テラ地域開発プログラム	65,517,653				65,517,653	100,000	3,200
		エチオピア南スーダン難民キャンプでの緊急時における教育・子どもの保護事業		2,848,830	13,089,559	B	15,938,389	2,732	
		エチオピア南スーダン難民キャンプでの緊急時における教育事業2		5,740,168	34,954,116	B	40,694,284	3,185	
	ケニア	エチオピア南スーダン難民キャンプでの教育環境整備事業(フェーズ3)		735,264	4,361,999	B	5,097,263	3,154	
		オレントン地域開発プログラム	36,095,374				36,095,374	20,414	1,200
		イラマタク地域開発プログラム	42,970,683				42,970,683	15,000	1,800
		キアムボゴコ地域開発プログラム	38,046,344				38,046,344	21,712	1,700
		ケニア共和国 オルトウムソイ村診療所建設支援事業		3,639,870			3,639,870	2,802	
		ケニア共和国 タンギシータ小学校教室建設支援事業		8,333,279			8,333,279	240	
		キラムルジ地域開発プログラム	74,142,425				74,142,425	21,674	3,500
	ルワンダ	グウィザ地域開発プログラム	19,285,040				19,285,040	28,903	3,000
		チャイルド・ヘルス・ナウ支援事業		10,110,749			10,110,749	118,191	
		子どもの栄養改善支援事業		5,353,237			5,353,237	3,500	
		ルワンダ共和国・キラムルジ地域 家庭用雨水貯水タンク支援事業		1,463,430			1,463,430	55	

国名		プロジェクト名	チャイルド・スポンサー シップによる支援額	その他募金による支援額	助成金・委託金による 支援額		合計	受益者数(人)	チャイルド数 (人)	
東 ア フリ カ	ソマリア	ブントランドにおける栄養改善のための緊急食糧支援			46,659	C	46,659	18,137		
		ソマリア干ばつからの回復プロジェクト(DANIDA事業)			173,040,003	I	173,040,003	420,000		
		HIV/AIDS予防対策及び感染者ケア統合型事業		3,178,819	7,526,262	D/G	10,705,081	381,111		
		ソマリアにおけるコミュニティのレジリエンス強化、食糧および栄養改善支援事業		3,426,735	7,547,624	C	185,405,217	298,274		
				174,430,858	物					
	南スーダン	西エクトリア州教育支援事業		3,234,011	19,879,896	B	23,113,907	54,000		
		西エクトリア州コンゴ難民・中央アフリカ共和国難民人道支援事業		1,946,319	37,695,729	F	39,642,048	8,391		
		西エクトリア州コンゴ難民・中央アフリカ共和国難民人道支援事業(上記継続事業)		16,177,198	59,294,329	F	75,471,527	9,780		
		南スーダン緊急食糧援助プログラム ※アッバーナイル州(マラカル、ノースゾーン、ロムコドック)		4,120,434	1,222,066	C	36,691,814	195,681		
		南スーダン緊急食糧援助プログラム ※西エクトリア州マリディ、イバ、ヤンビオ、ンザラ、エゾ、タンブラ、ナゲロ		289,572	2,974,107	C				
		南スーダン緊急食糧援助プログラム ※西エクトリア州マリディ、イバ、ヤンビオ、ンザラ、エゾ、タンブラ、ナゲロ(上記継続事業)		1,157,074	424,113	C	5,484,553	12,198		
		南スーダン緊急食糧援助プログラム ※中央エクトリア州ジュバ		2,269,054	1,475,214	C				
		南スーダン緊急食糧援助プログラム ※中央エクトリア州ジュバ(上記継続事業)		1,011,075	319,520	C	9,965,318	20,400		
		南スーダン食糧援助プログラム ※北バハル・アル・ガザール州		2,511,308	726,717	C				
		南スーダン緊急食糧援助プログラム ※ワラップ州		1,011,075	250,356	C	3,088,186	36,456		
		南スーダン食糧援助プログラム ※ワラップ州		4,435,889	1,460,103	C				
		スーダン	ダルフル緊急食糧支援事業			4,244,349	C	46,891,322	843,791	
						42,646,973	物			
			ダルフル緊急食糧支援事業		1,011,075	1,318,451	C	13,219,905	8,284	
					10,890,379	物				
	タンザニア	ムゲラ地域開発援助プログラム	53,492,232				53,492,232	38,809	2,800	
		コロワ地域開発援助プログラム	50,386,411				50,386,411	37,446	2,500	
		ンゲレンゲレ拡大地域開発プログラム	13,773,165				13,773,165	60,627	450	
		ムキンガ地域開発プログラム	37,546,367				37,546,367	106,837	2,000	
ウガンダ	タンザニア連合共和国ムワキコヤ村ムキコヤ小学校建設支援事業		2,560,952			2,560,952	90			
	ナラウエヨ・キシータ地域開発プログラム	37,578,014				37,578,014	34,000	1,800		
	キルヤンガ地域開発プログラム	41,335,775				41,335,775	40,000	2,200		
	デソコマ地域開発プログラム	31,494,982				31,494,982	37,376	2,000		
南 ア フリ カ	コンゴ 民主共和国	トヨタ地域開発プログラム	65,022,631				65,022,631	58,080	3,200	
		カンボバ地域開発プログラム	55,733,684				55,733,684	31,679	3,000	
		コンゴ民主共和国カタンガ州におけるHIV/AIDS対策事業		1,981,100	32,042,887	E/G	34,023,987	42,362		
		コンゴ民主共和国カタンガ州と赤道州におけるマラリア対策事業		430,819	29,273,717	E/G	29,704,536	100,000		
	マラウイ	シンダノ小学校建設支援事業		4,390,188			4,390,188	224		
		クーエ地域開発プログラム	63,333,732				63,333,732	18,926	3,500	
		カリラ地域開発プログラム	73,467,128				73,467,128	28,735	3,500	
		チムワラ小学校学校家具支援事業		1,947,836			1,947,836	546		
		ンチシ県母子保健関連施設整備事業2年次		3,524,062	23,330,679	A	26,854,741	10,702		
		ンチシ県母子保健関連施設整備事業3年次		6,680,480	25,855,449	A	32,535,929	10,702		
	スワジランド	ンチシ県母子保健事業		-6,938,906			-6,938,906	10,702		
		シェウラ地域開発プログラム	70,935,297				70,935,297	15,000	3,000	
ゲゲ地域開発プログラム		41,737,172				41,737,172	21,000	2,300		
コルタ地域開発プログラム		37,660,518				37,660,518	10,303	1,900		
中 南 米	ブンガラ地域開発プログラム	38,445,112				38,445,112	7,000	1,700		
	ティエラ・ヌエバ地域開発プログラム	28,196,856				28,196,856	5,500	1,700		
東 欧 ・ 中 東	エルサルバドル	サンアグスティン地域開発プログラム	40,281,224				40,281,224	4,500	1,800	
	アフガニスタン	ヘラート州及び周辺地域における保健・医療従事者養成のための環境整備事業2		-1,892,788	6,552,841	B	4,660,053	126,369		
		ヘラート州及び周辺地域における保健・医療従事者養成のための環境整備事業3		6,768,250	23,231,862	B	30,000,112	60,395		
		バグイス州における教育のための食糧事業		1,011,075	947,497	C	14,797,072	23,234		
				12,838,500	物					
	イラク	クルド人自治区における緊急食糧支援		2,720,600	30,680,297	C	33,400,897	962,245		
	パレスチナ自治区	パレスチナ・ガザ人道支援		10,110,749			10,110,749	90,000		
	ヨルダン	シリア難民およびヨルダン人の子どもたちへの教育支援事業		6,313,162	7,051,189	B	13,364,351	1,159		
		シリア難民およびヨルダン人の子どもたちへの教育支援事業2		6,427,723	35,759,860	B	42,187,583	1,300		
	チャイルド・スポンサーシップ特別募金			1,112,284				1,112,284		
ギフトカタログ特別募金				5,278,418			5,278,418			
緊急援助基金				29,500,941			29,500,941			
グローバル・センター 運営管理費			298,165,482	31,299,744			329,465,226			
前年度終了事業等にかかる精算額・補填額			-400,790	-4,262,017	-837,366		-5,500,173			
為替換算調整額			-196				-196			
海外支援事業費合計			¥ 2,554,522,390	¥ 337,178,181	¥ 1,017,965,268		¥ 3,909,665,839	6,594,156人	106,550人	
国内支援										
日本		東日本大震災緊急・復興支援事業		11,083,121			11,083,121	2,331		
総合計							¥ 3,920,748,960	6,596,487人	106,550人	

ワールド・ビジョンについて

ーワールド・ビジョンは、世界最大規模の国際NGOですー

ワールド・ビジョンの始まり

ワールド・ビジョンの活動は、アメリカ生まれのキリスト教宣教師ボブ・ピアスによって始められました。第二次世界大戦後、混乱をきわめた中国に渡ったボブ・ピアスは、「すべての人々に‘何もかも’はできなくとも、誰かに‘何か’はできる」と考えるようになりました。中国で出会った一人の少女の支援を始めた彼は、より多くの支援を届けるため、1950年9月、アメリカのオレゴン州で「ワールド・ビジョン」を設立。朝鮮戦争によって両親を亡くした子どもたち、夫を亡くした女性たち、ハンセン病や結核患者に救いの手をさしのべることから始まり、現在は世界の子どものために、「開発援助」「緊急人道支援」「アドボカシー」の3つを柱に、約100カ国で活動しています。



ワールド・ビジョン創設者
ボブ・ピアス

ワールド・ビジョン全体の収入額推移（億米ドル）



組織と運営

ワールド・ビジョンにおいて、日本を含む支援国では、各国で独自に総会・理事会を持ち、その国のワールド・ビジョンの運営に関する責任を負っています。通常は、総会・理事会のもとに事務局が置かれ、実際の運営を行います。最終的な責任はその国の総会・理事会が持っています。

ワールド・ビジョン全体に関わる方針や事業計画、予算等については、各地域から選出された理事で構成される国際理事会で決定されます。このほか国際理事会では、新たに活動を始める国や活動を終了する国の承認も行います。国際理事会のもと、ワールド・ビジョン事務局が、各国・各地域間の調整業務や技術的サポートを行っています。

ワールド・ビジョン活動データ（2014年度実績）



活動国リスト

- アジア
 - インド
 - インドネシア
 - 韓国
 - カンボジア
 - 北朝鮮
 - シンガポール
 - スリランカ
 - タイ
 - 台湾
 - 中国(香港含む)
 - 日本
 - ネパール
 - バングラデシュ
 - 東ティモール
 - フィリピン
 - ベトナム
 - マレーシア
 - ミャンマー
 - モンゴル
 - ラオス
- アフリカ
 - アンゴラ
 - ウガンダ
 - エチオピア
 - ガーナ
 - ケニア
 - コンゴ民主共和国
 - ザンビア
 - シエラレオネ
 - ジンバブエ
 - スーダン
 - スワジランド
 - セネガル
 - ソマリア
 - タンザニア
 - チャド
 - 中央アフリカ共和国
 - ニジェール
 - ブルンジ
 - マラウイ
 - マリ
 - 南アフリカ
 - 南スーダン
 - モーリタニア
 - モザンビーク
 - ルワンダ
 - レソト
- 中南米
 - エクアドル
 - エルサルバドル
 - グアテマラ
 - コスタリカ
 - コロンビア
 - チリ
 - ドミニカ共和国
 - ニカラグア
 - ハイチ
 - パナマ
 - ブラジル
 - ペルー
 - ボリビア
 - ホンジュラス
 - メキシコ
- 東欧・中東
 - アゼルバイジャン
 - アフガニスタン
 - アラブ首長国連邦
 - アルバニア
 - アルメニア
 - イスラエル/パレスチナ
 - イラク
 - キプロス
 - コソボ
 - ジョージア
 - シリア
 - セルビア
 - トルコ
 - パキスタン
 - ボスニア・ヘルツェゴビナ
 - モンテネグロ
 - ヨルダン
 - ルーマニア
 - レバノン
 - ユーロパ
 - アイスランド
 - イギリス
 - イタリア
 - オーストリア
 - オランダ
 - ジブラルタル
 - スイス
 - スペイン
 - ドイツ
 - フィンランド
 - フランス
 - ベルギー
- 北米
 - アメリカ
 - カナダ
- オセアニア
 - オーストラリア
 - ソロモン諸島
 - ニュージーランド
 - バヌアツ
 - バブアニューギニア

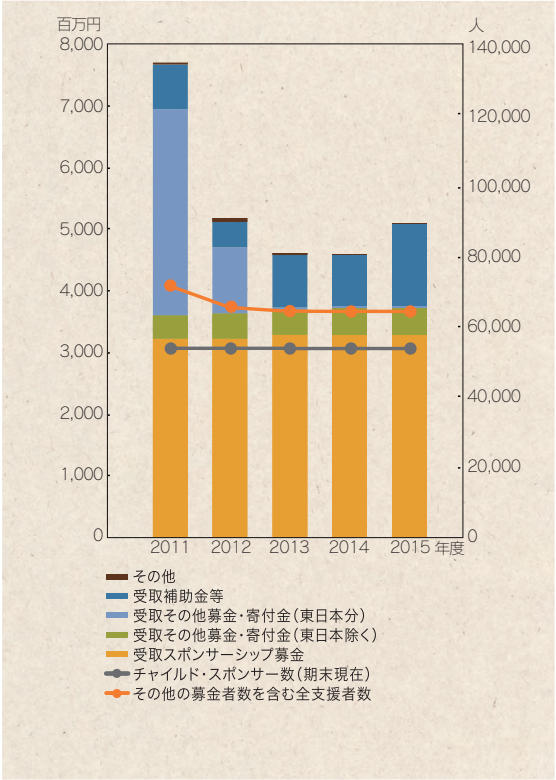
ワールド・ビジョン・ジャパンについて

ワールド・ビジョンは1960年代、日本でも両親を亡くした子どもたちが生活する施設等を通じて支援活動を行いました。その後、日本の経済成長と内外の海外支援に対する気運の高まりとともに、1987年10月に「ワールド・ビジョン・ジャパン」が設立され、独自の理事会を持つ組織として活動を開始しました。

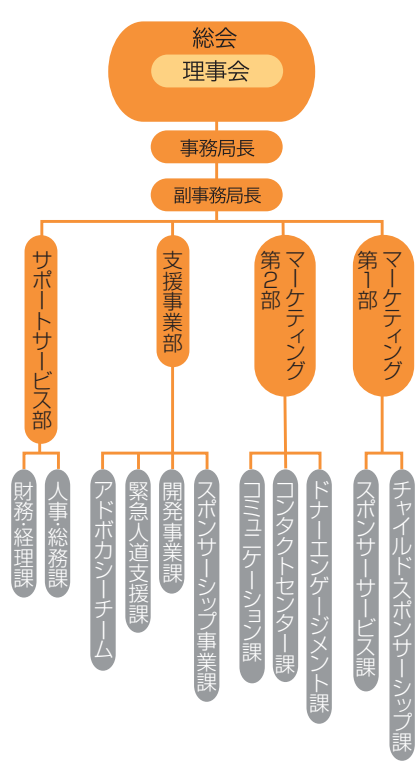
1999年に特定非営利活動法人の認証を得、法人格を持つ民間援助機関としてその歩みを進めています。2002年5月、国税庁より「認定NPO法人」に認定され、これ以降、当団体への寄付金は税制上の優遇措置を受けられるようになりました。また、その後のNPO法改正を受け、2014年8月には東京都より改めて認定されています。



経常収益の推移



ワールド・ビジョン・ジャパン組織図



役員・親善大使（常勤一名を除き無給です）

- | | |
|--------|------------------------------------|
| 特別顧問理事 | 羽鳥 明（一般財団法人太平洋放送協会顧問） |
| 名誉会長 | 峯野 龍弘（ウェスレアン・ホーリネス教団淀橋教会牧師） |
| 理事長 | 榊原 寛（お茶の水クリスチャンセンター副理事長） |
| 副理事長 | 飯島 延浩（山崎製パン株式会社代表取締役社長） |
| 常務理事 | 片山 信彦（特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン事務局長） |
| 理事 | 新川代利子（ウェスレアン・ホーリネス神学院助教授） |
| 理事 | 安西 愈（弁護士） |
| 理事 | 小西 孝蔵（前農林中央金庫常任監事） |
| 理事 | 日暮 道生（栄香料株式会社取締役会長） |
| 理事 | 三木 晴雄（玉の肌石鹸株式会社代表取締役会長） |
| 理事 | 湊 晶子（広島女学院院長・学長） |
| 監事 | 仲村 堪（ウェスレアン・ホーリネス教団淀橋教会事務局長） |
| 監事 | 吉持 章（スウェーデン同盟キリスト教団（いのちのことば社）理事長） |
| 親善大使 | ジュディ・オング（女優・歌手・木版画家） |
| 親善大使 | 酒井 美紀（女優） |